



支援室だより

大阪府立思斉支援学校
令和7年度 第3号

要求を絵カードのポインティングで伝えることをめざした指導

対象の実態及び課題

手の届かない場所に欲しい物があるときには“手を伸ばす”ことで伝えようとする様子がみられていたが、一度で伝わらないと「相手の手をつねる」という方法で訴えてくることが多い。その他の場面で、自分から人にかかわってこうとする意欲や態度はあまりみられない状態である。

指導目標

欲しい物があるときに、絵カード(『ちょうだい』カード)のポインティングで要求することができる。

学習内容 指導方法

1. 児童(生徒)と向き合って座り、型はめを行うように促す。
9個の型のうち、5個は枠と一緒にかごに置いておき、残りの4個は指導者が持つておく。机の上に『ちょうだい』の絵カードを置いておく。
2. 児童(生徒)が手元にある型を全部入れ終えたときに、「まだあるよ」と言いながら持っている型を見せる。
3. 手を伸ばして取ろうとしたときには、「どう言うの?」と尋ね、机の上にある絵カードをポインティングするように促す。
4. 児童(生徒)が絵カードをポインティングしたら、ポインティングした絵カードの名称を言葉にして確認する。それから「はい、どうぞ」と言って型を一つ渡す。
5. 2～4のやりとりを繰り返す。

〈自立活動の内容の6区分27項目より〉

2 心理的な安定

- (1) 情緒の安定に関すること。
- (2) 状況の理解と変化への対応に関すること。
- (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。

6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。
- (2) 言語の受容と表出に関すること。
- (3) 言語の形成と活用に関すること。
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。